

# 株式会社 司測研



代表取締役社長  
大司 秀

東京都  
世田谷区玉堤1-19-4

1964年(昭和39年)設立  
03-3703-4391

<http://www.sokken.co.jp/>

高度計測技術を駆使して  
環境問題に挑戦する  
先端研究開発型企业

圧力と流量の計測技術をベースに、エネルギー問題と環境問題、特にPM計測における技術開発を続けて産業界の広い分野で貢献

## 時代とともに

同社は日本の自動車産業の発展初期に、その計測基盤技術であるガスサンプリングから流量計測、圧力計測で大きく貢献した。特に、F1(自動車レース)の場でその技術力は実証された。さらに排ガス計測、燃料電池計測などを手掛けて、今や極微粒子計測の分野まで大きな役割を果たしてきた。特に圧力、流量の高精度計測技術と微粒子測定において、環境改善への大いなる寄与を果たしつつある。

## 極微粒子計測

直径 $25\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質が問題にされる以前から環境問題、スモークメータ、オパシメータだけでなく最近では極微粒子(ナノ粒子;1ナノメータは1mの10億分の1)の高度な計測技術を開発し、産業技術総合研究所の指導と協力を得て革新的な計測装置を製作している。微粒子関係の技術は特に環境問題において重要視され、エコロジーにおける役割が大きい。写真(右)は、EUの排ガス規制対応の画期的な粒子数計測装置。



エアロゾル荷電中和装置



排ガス粒子数計測装置

## 圧力と流量

0.1 Pa(大気圧力の百万分の1)といった微圧から最近のエンジンの超高压燃料噴射圧400 MPaを超える広範囲の圧力を精密測定する技術や空気などの気体流量をノズルや層流方式など各種の手段で計測する技術を広い産業分野に応用しており、特に広くエネルギー産業に多大な貢献をしている。